

平成 29 年度 宮城野区障害者自立支援協議会 実施計画案

プロジェクト名	民生委員児童委員に対する障害者相談支援事業所の認知度 UP のための取り組み
担当事業所 (予定)	障害者相談支援事業所（ハンズ宮城野、ホープ、宮城野雲母倶楽部＋ら i 心、つるがや地域生活支援センター）・仙台市社会福祉協議会宮城野区事務所
目的	民生委員児童委員に対する障害者相談支援事業所の認知度 UP を図ることで、民生委員児童委員から障害者相談支援事業所への相談ルートを確立し、本来支援を必要としている障害のある方（“自ら声をあげられない方”）を適切な支援につなぐ。
平成 28 年度 の成果と課題	成果： 4 つの相談支援事業所において、計 27 回、区内全ての地区民生委員児童委員協議会定例会（以下、「民児協定例会」という。）に参加し、相談支援事業所や区自立支援協議会等について周知した。 課題： 民生委員児童委員から障害者相談事業所への相談ルートが、これまで以上に確固たるものとなったかどうかという評価が見えづらかった。
目標	様々な事例の支援において各関係機関とのつなぎ役を担っている民生委員児童委員に対する障害者相談支援事業所の認知度を高め、日頃の連携を強化する。
参加者 (または対象 者)	民生委員児童委員
開催頻度	必要に応じ
内容	宮城野区内の各地区民児協定例会へ必要に応じ、参加し、障害者相談支援事業所や区自立支援協議会について周知する。 ※資料を配布した上で障害者相談支援事業所や区自立支援協議会について説明する他、各催し等についても案内する。 ※各民児協定例会の開催スケジュールに合わせて参加することとし、参加予定の地区の会長には、事前に区障害高齢課長より依頼してもらう。
評価の視点・ 方法	<ul style="list-style-type: none"> ・民児協定例会参加時の様子や印象について別紙にて記録・報告し、共有を図る。 ・民児協定例会参加後半年程度を目安に、新規相談受付状況や日頃の連携状況等を基に評価を行う。ただし、それまでの間も必要に応じて民児協定例会への参加や認知度 UP に向けた取り組みは継続して行っていくものとする。 ・効果測定観点から、障害者世帯との関わりに関するアンケート調査を行う。
開催に当た るの留意点等	